

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児聴覚障害 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	702
担当教員	青木 弥穂				
実務経験とその関連資格	言語聴覚士として難聴幼児通園施設に8年勤務し、言語指導、聴能指導を中心に行った。その後、児童発達支援事業所で言語指導に従事する。大阪府言語聴覚士会聴覚分科会に所属。公認心理師資格所持。日本音声言語医学会会員、日本聴覚医学会会員。				
《授業科目における学習内容》					
聴覚障害児のハビリテーションについて学習する。 言語・コミュニケーションの評価、聴覚評価、指導方法について解説する。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験(70%)、課題(10%)、グループ学習(10%)、小テスト(10%)を実施し、総合的に評価する。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:聴覚障害学第3版(医学書院) 参考書:病気がみえる 耳鼻咽喉科(メディックメディア)					
《授業外における学習方法》					
教科書の該当範囲を熟読し、各回終了後、ノートにまとめる。授業終了後に示すまとめを実施すること。					
《履修に当たっての留意点》					
小児の発達過程をよく理解しておくこと。教科書を読んで、講義に臨むこと。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	小児聴覚障害の特性と内容を理解し、説明できる	教科書・資料	(復習課題) 耳の構造・機能・病態・聴性行動発達について復習する	
	各コマにおける授業予定	小児聴覚障害の概要、聴覚の発達と病態			
第2回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の歴史について、説明できる	教科書・資料	(予習課題) 聴覚障害のハビリテーションについて調べる	
	各コマにおける授業予定	難聴児の教育の歴史			
第3回	授業を通じての到達目標	先天性聴覚障害児のハビリテーションの内容を理解し、説明できる	教科書・資料	(予習課題) 難聴と言語機能について調べる	
	各コマにおける授業予定	小児聴覚障害とハビリテーション			
第4回	授業を通じての到達目標	難聴による言語コミュニケーションについて説明できる	教科書・資料	(予習課題) 聴覚検査、聴覚評価について教科書を読む	
	各コマにおける授業予定	難聴と言語機能			
第5回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の聴覚活用と聴覚ハビリテーションの内容について説明できる	教科書・資料	(予習課題) 聴覚障害の病態、評価について復習する。	
	各コマにおける授業予定	聴覚ハビリテーション			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の言語ハビリテーションの内容について説明できる	教科書・資料	(予習課題)発達を理解し、言語機能の評価について教科書を読む
	各コマにおける授業予定	言語ハビリテーション①		
第7回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の言語課題を考えることができる	教科書・資料	(予習課題)発達を理解し、言語機能の評価について教科書を読む
	各コマにおける授業予定	言語ハビリテーション②		
第8回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の発声発語訓練の内容を理解できる	教科書・資料	(予習課題)難聴児の発語について教科書を読む
	各コマにおける授業予定	発声・発語ハビリテーション		
第9回	授業を通じての到達目標	聴覚障害児の発声発語訓練の教材作成ができる	教科書・資料	(復習課題)発声・発語について教材・教示法を復習する
	各コマにおける授業予定	発声・発語ハビリテーション		
第10回	授業を通じての到達目標	乳幼児期の情緒社会性について学び、ハビリテーションの内容を立案できる	教科書・資料	(予習課題)ハビリテーションプログラムを立案するための評価項目について調べる
	各コマにおける授業予定	情緒社会性評価		
第11回	授業を通じての到達目標	乳児期の発達を理解し、その学習方法について説明できる	教科書・資料	(復習課題)乳児の発達段階についてまとめる
	各コマにおける授業予定	発達段階と学習方法(乳児期)		
第12回	授業を通じての到達目標	幼児期の発達を理解し、その学習方法について説明できる	教科書・資料	(復習課題)幼児の発達段階についてまとめる
	各コマにおける授業予定	発達段階と学習方法(幼児期)		
第13回	授業を通じての到達目標	小児期から就学までのハビリテーションについて、考えることができる	教科書・資料	(復習課題)聴覚障害児のライフステージについて教科書を読む
	各コマにおける授業予定	ライフステージでのハビリテーションの展望		
第14回	授業を通じての到達目標	保護者支援、環境調整等について考えることができる	教科書・資料	(復習課題)総括に向けてIの内容をまとめる
	各コマにおける授業予定	保護者支援		
第15回	授業を通じての到達目標	小児難聴のハビリテーションプログラムについて考えることができる。Iを通して学んだことをまとめ、発表することができる	教科書・資料	(復習課題)小児聴覚障害Iについて復習する
	各コマにおける授業予定	ハビリテーションプログラムの立案・総括		